

TSI トランジットと飲食事業会社を設立 NY人気ペイストリーを国内展開

TSIホールディングスは、トランジットジェネラルオフィス(東京、中村貞裕・社長)と合弁会社を設立し、ニューヨークの人気ペイストリーショップ「ドミニクアンセルベーカリー」を日本で事業展開する。TSIが中期経営計画で掲げる非衣料分野の拡大策の一環で、これを機に飲食事業に本格参入する。9月1日付で設立した合弁会社D.A.B.PASTRY(ディーエイビーペイストリー)はTSIが51%、トランジットが49%を出資し、社長はTSIの濱田博人・取



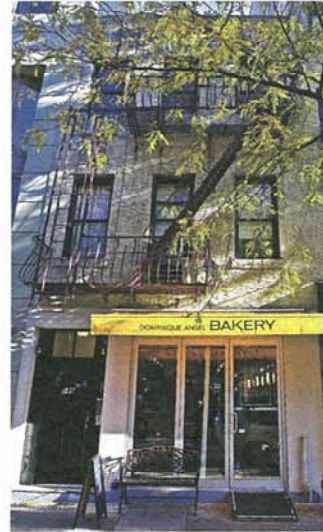
9月17日にTSI本社で記者発表会が開かれた。左からD.A.B.PASTRYの岡田光・取締役、トランジットジェネラルオフィスの中村貞裕・社長、ドミニクアンセルベーカリーのドミニク・アンセル＝オーナーシェフ、TSIホールディングスの三宅正彦・会長兼社長、D.A.B.の濱田博人・社長

締役経営戦略本部企画開発部長が兼任する。2015年春に東京・表参道に1号店を開き、これが軌道に乗れば首都圏の商業施設などに店舗を広げる。

「ドミニクアンセルベーカリー」は11年にNYのソーホーで開店。オーナーシェフであるドミニク・アンセル氏の作るクロワッサン食感のドーナツ「クロナッツ」、クッキー生地

のショットグラスにバニラミルクを注ぐ「クッキーショット」をはじめ、独創的なペイストリーによって、飲食業界の数々の賞を受賞し、開店前の朝8時には100～200人の行列ができる人気店になった。名前は世界に知られ、観光客も多く訪れる。現在も店舗はソーホーの1店舗のみで、表参道は2号店になる。表参道店はNYの店舗の2倍以上になる店舗面積150坪の大型店を計画する。

同店の日本上陸を構想していたトランジットの中村社長は、「ジルスチュアート」「キヤスキッドソン」の飲食業態で提携するTSIに協力を求め、合弁会社を設立する運びになっ



左：NY本店は小さな店舗にもかかわらず朝8時の開店時には長い行列ができる 右：定番のクロワッサン食感のドーナツ「クロナッツ」



た。合弁会社は「ドミニクアンセルベーカリー」とライセンス契約を結び、技術指導を受ける。9月17日の会見でTSIの三宅正彦会長兼社長は「当社はグループ24社を通じて服だけでなく衣・食・住・遊をファッション事業の領域として捉えている。(飲食事業は)これまで個々の企業での取り組みだったが、今後は本格的にノウハウを蓄積していく。今回の合弁会社設立はその第一歩だ」と話した。またトランジットと組むことについて「中村社長は飲食だけでなく、カルチャーやスタイルなど幅広い分野に知見を持つ。当社にとって相乗効果が最も高

いパートナーだ」と期待を込める。発表にあわせて来日したドミニク・アンセル＝オーナーシェフは「店に並んで下さる人の中には外国からの観光客の方も多く、お土産用に買い求めているが、残念ながら1日経つと味がおちてしまう。日本のお客さんにフレッシュな味を提供したい」「日本独自の取り組みを行っていききたい。NYから東京にわざわざ食べに来たくなるような店を目指す」と抱負を述べた。アンセル氏は表参道店のオープン後も年4回来日し、同店のパティエに直接技術指導するとともに、自らの最新レシピを伝授する。